６　消 防 団 編

1　消防団の沿革

消防団は、日頃から訓練を積み重ね、火災・水災及びその他の災害の防ぎょに活躍している。また、平常時においても一般家庭査察・予防広報など献身的な取組みを行い、あわせて女性消防団員による特性を活かした市民との対話による火災予防活動を行い、地域防災の重要な役割を果たしている。

昭和22年	7月	・消防団令（昭和22年勅令第185号）の公布により警防団が廃止され、旭川市消防団を設置
昭和23年	3月	・消防組織法（昭和22年法律第226号）の施行に伴い『新制』旭川市消防団として9分団、定員250人で発足
	4月	・旭川市消防団初代団長に井内謹二氏就任
昭和24年	6月	・旭川市消防団第2代団長に浜本久蔵氏就任
昭和25年	11月	・旭川市消防団第3代団長に前田重春氏就任
昭和26年	4月	・東鷹栖村の一部を編入、同地区に10分団を設置 ・旭川市消防団本部を設置
昭和27年	10月	・旭川市消防団第4代団長に吉田正雄氏就任
昭和30年	4月	・神居・江丹別村と合併、両村消防団は旭川市消防団に統合 ・旭川市消防団第5代団長に工藤力夫氏就任
昭和36年	4月	・永山町と合併、永山消防団を存置、旭川市永山消防団とする。 ・旭川市消防団第6代団長に渡部顕康氏就任
昭和37年	3月	・旭川市消防団が消防庁長官表彰受章
昭和38年	8月	・東旭川町と合併、東旭川消防団を存置、旭川市東旭川消防団とする。
昭和43年	3月	・神楽町と合併、神楽消防団を存置、旭川市神楽消防団とする。
昭和46年	3月	・東鷹栖町と合併、東鷹栖消防団を存置、旭川市東鷹栖消防団とする。
昭和48年	4月	・旭川市消防団第7代団長に高橋光義氏就任
昭和50年	10月	・旭川市消防団第8代団長に谷口幸市氏就任
昭和52年	4月	・旭川市消防団第9代団長に阿久津隆士氏就任
昭和53年	4月	・従来の5消防団と水防団を統合、新たな旭川市消防団として発足 1団9地区32分団、定員850人 ・消防団事務局が消防団事務課として、消防本部の機構に入る。
昭和57年	4月	・定員を750人とする。
平成 3年	4月	・消防団本部に女性部設置
平成 4年	4月	・消防団の組織改正 ①副団長の定数を9人から4人とする。 ②分団の地区制を廃止、連番号制とする。 ③春光台地区に分団を新設する。 ④団長以下の定数は、現行の750人とする。
平成 6年	4月	・旭川市消防団第10代団長に吉野務氏就任
平成 8年	4月	・消防団の組織改正 消防団女性部を女性分団に昇格、1消防団本部、34個分団となる。
平成11年	5月	・旭川市消防団第11代団長に矢野清圓氏就任
平成12年	4月	・消防団の組織改正 消防団本部に分団長を配置
平成14年	4月	・旭川市消防団第12代団長に佐藤任夫氏就任

平成16年	4月	・消防団の組織改正 ①消防団本部の分団長を廃止する。 ②副団長の定数を4人から7人とする。
平成17年	2月	・旭川市消防団が消防庁長官から特別推薦枠で消防団地域活動表彰受章
	5月	・消防団の組織改正 ①副分団長の定数を34人から35人とする。 ②女性分団副分団長を2人制とする。
平成22年	4月	・旭川市消防団第13代団長に富居誠吉氏就任
	11月	・第28分団が愛知県蒲郡市で開催された第22回全国消防操法大会（ポンプ車操法の部）に北海道代表として出場。高倉忠氏が優秀選手賞（指揮者）を受賞
平成30年	4月	・旭川市消防団第14代団長に村田秀幸氏就任
	12月	・北海道開発局長から水防功労者表彰受章
平成31年	2月	・国土交通大臣から水防功労者表彰受章
令和 2年	3月	・旭川市消防団が消防庁長官表彰旗受章
	4月	・旭川市消防団第15代団長に古里一朗氏就任
令和 3年	2月	・消防団の組織改正 消防団本部の業務を補佐する本部付分団を設置、1消防団本部、35個分団となる。
令和 5年	4月	・消防団の組織改正 副団長の定数を7人から9人とする。
令和 6年	10月	・第28分団が宮城県利府町で開催された第30回全国消防操法大会（ポンプ車操法の部）に北海道代表として出場

2　消防団組織（定数）

【令和8.4.1】

消防団
- 本　部（団長1人、副団長9人）　10人
- 分　団（第1分団～第33分団・女性分団・本部付分団）　740人

3　消防団員（実数）

年齢別団員数

【令和8.4.1】

年齢	合計	18～21	22～25	26～29	30～33	34～37	38～41	42～45	46～49	50～53	54～57	58～
団員数	631	5	13	17	27	42	77	72	78	83	78	139

平均年齢　48.6歳

勤続年数別団員数

【令和8.4.1】

年	合計	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
団員数	631 (44)	137 (19)	117 (5)	122 (9)	85 (6)	70 (3)	50 (2)	50 (-)

※　（　）内は、女性団員数

消防団階級別人員数及び年報酬、手当等

【令和8.4.1】

区分／階級	定数	実員	年報酬（円）	報酬
合計	750	631（44）	－	災害出動報酬　8,000円
団長	1	1	82,500	訓練出動報酬　7,000円
副団長	9	9	69,000	警戒出動報酬　7,000円
分団長	35	32（1）	50,500	（令和4年4月1日改正）
副分団長	36	32（1）	45,500	
部長	69	69（2）	37,000	
班長	137	134（7）	37,000	
団員	463	354（33）	36,500	

※　（　）内は、女性団員数
※　旭川市消防団副団長の実員9人のうち2人は、分団長事務取扱
※　旭川市消防団副団長の実員9人のうち3人は、副分団長事務取扱

4　消防団施設及び車両状況

【令和8.4.1】

分団名	所在地	詰所建築年月日	車両種別	車両配置年月日
第1分団	5条通4丁目	S55.3.21	積載車（ワンボックス型）	H18.10.30
第2分団	7条通14丁目	H8.12.9	積載車（ワンボックス型）	H28.2.12
第3分団	南2条通21丁目	S59.12.1	積載車（全自動型）	H16.10.1
第4分団	豊岡3条3丁目（豊岡出張所併設）	H27.2.27	消防タンク車（水Ⅰ－A型）	H29.1.27
第5分団	東旭川北1条6丁目（東旭川出張所併設）	S44.6.30	消防ポンプ車（CD－Ⅰ型）	H29.2.7
第6分団	東光9条10丁目	S62.10.3	積載車	H23.3.18
第7分団	東旭川町旭正	H14.9.3	積載車	H29.12.20
第8分団	東旭川町日ノ出	H13.10.31	積載車	H29.12.20
第9分団	東旭川町東桜岡	H19.12.20	積載車	H24.3.19
第10分団	東旭川町豊田	S63.8.31	積載車	R8.3.30
第11分団	東旭川町米原	H10.12.8	積載車	R2.1.30
第12分団	神楽4条7丁目（神楽出張所併設）	H14.9.30	消防ポンプ車（CD－Ⅰ型）	H19.12.17
第13分団	西神楽北1条2丁目（西神楽分遣所併設）	R2.2.1	消防タンク車（CD－Ⅱ型）	R5.1.19
第14分団	西神楽1線18号	S60.10.30	積載車	R3.1.14
第15分団	西神楽2線25号	S33.10.1	積載車	H28.2.24
	西神楽1線31号	S55.12.2	積載車	H15.12.12
第16分団	神居3条9丁目	S63.10.31	積載車	H26.2.25
第17分団	神居町雨紛	H3.11.1	積載車	R3.1.14
第18分団	神居町神居古潭	S56.12.4	積載車	H25.2.27
第19分団	神居町豊里	H9.10.24	積載車	H29.12.20
第20分団	江丹別町中央	H4.10.5	積載車	R2.1.30
第21分団	江丹別町嵐山	H7.11.15	積載車（ワンボックス型）	H20.12.19
第22分団	東4条2丁目	H元.11.30	積載車	R7.1.27
第23分団	緑町16丁目（近文分遣所併設）	S55.12.10	消防タンク車（CD－Ⅱ型）	R6.1.19
第24分団	旭町1条5丁目	S61.10.23	積載車	H24.3.19
第25分団	末広4条1丁目（春光出張所併設）	S46.12.15	積載車	H25.2.27
第26分団	末広3条4丁目	H8.12.9	積載車	R4.12.22
第27分団	春光台3条5丁目	H5.11.1	積載車	H29.2.16
第28分団	永山2条17丁目（永山出張所併設）	S41.5.24	消防ポンプ車（CD－Ⅱ型）	H17.12.13
第29分団	永山町15丁目	H17.12.20	積載車	H29.12.20
第30分団	永山9条8丁目	H17.3.25	積載車	H29.2.16
第31分団	東鷹栖東1条4丁目（東鷹栖分遣所併設）	S41.8.8	消防タンク車（水Ⅰ－A型）	H27.2.6
			消防ポンプ車（CD－Ⅰ型）	R6.2.21
第32分団	東鷹栖10線15号	H6.11.4	積載車	H24.3.19
第33分団	東鷹栖11線21号	H11.11.11	積載車	H23.3.18

※　「積載車」とは、「小型動力ポンプ付き積載車」を示す。

5　消防団主要事業・行事

月	日	事　業　・　行　事　名	開催場所
4	20～30	春の火災予防運動 ＜チラシ配布、地域防火パレード等＞	市内一円
5	11	消防団基礎教育研修（～12/7まで計7回）	総合防災センター
	31	令和7年度石狩川水系忠別川総合水防演習	総合防災センター
6	15	第1回現任教養訓練	総合防災センター
	29	消防団消防訓練大会	総合防災センター
8	22	第77回北海道消防大会	名寄市民文化センター
10	11	消防・防災キッズフェスタ2025	総合防災センター
	15～31	秋の火災予防運動 ＜ほのぼの防火訪問、地域防火パレード等＞	市内一円
11	7	消防団中堅幹部研修会 （公財）北海道消防協会上川地方支部主催事業	グランドホテル藤花（名寄市）
	16	第2回現任教養訓練	総合防災センター
	26～28	消防学校幹部教育	北海道消防学校(江別市)
12	15～31	歳末特別警戒	市内一円
1	11	令和8年旭川市消防出初式	リクルートスタッフィング リック＆スー旭川体育館
2	5	正副団長研修会 上川地区消防団長会主催事業	旭川トーヨーホテル
	17	正副分団長研修会	総合防災センター
3	11	令和8年旭川市消防記念日式典	大雪クリスタルホール



（消防団消防訓練大会）



（令和7年度石狩川水系忠別川総合水防演習）



（令和8年旭川市消防出初式）



（令和8年旭川市消防記念日式典）

6　消防団協力事業所表示制度

本市の消防団協力事業所表示制度は、複数の従業員が消防団員として入団されている事業所や従業員が消防団活動を行うことに対し積極的に配慮されている事業所、災害時等に保有する資機材等を提供するなどの協力をいただいている事業所等に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域における当該事業所等の社会貢献を広く広報するとともに、消防団と協力事業所の連携・協力体制を一層強固にし、地域における消防防災体制の充実強化や消防団員の入団促進を図るための制度として平成20年1月からスタートした。

表示証交付事業所一覧

【令和8.4.1】

	事　業　所　名		事　業　所　名
1	(有)氏家清掃	31	日本郵便(株)永山郵便局
2	(福)北海道療育園	32	(株)カンディハウス
3	江丹別産業開発(株)	33	奥山商事(株)
4	(有)武自動車工業	34	(株)アルブロ
5	(福)新生会 希望学園	35	(有)阿部商店
6	(株)橋本川島コーポレーション	36	(株)谷口農場
7	(特非)旭川市消防協会	37	(株)戸田建設
8	たいせつ農業協同組合	38	(一社)大雪カムイミンタラDMO カムイスキーリンクス事業部
9	(社)北海道クミアイ自動車学園		
10	(株)キョクイチロジ	39	旭川トヨペット(株)アクセル大雪
11	あさひかわ農業協同組合	40	旭印　旭川中央青果（株）
12	清香園 山田植木(株)	41	(福)北海道療育園つつじの里
13	花本建設(株)	42	旭東清掃(株)
14	(有)大崎石油店	43	(株)拓美組
15	東旭川農業協同組合	44	(株)豊岡建設
16	(株)只石組	45	北海道ニチレキ工事(株)旭川営業
17	大雪土地改良区	46	(株)富士メン
18	(株)北洋タイル	47	(株)大協
19	塚本重機(株)	48	高田建設(株)
20	旭川ガス管工事(株)	49	宮谷建設興業(株)
21	旭川ガス住設(株)	50	東成建設(株)
22	長岡建設	51	(株)ネクシス光洋
23	(有)さくらサポート	52	(株)火薬開発工業
24	(有)山田設備工業	53	(株)丸松ササキ工業
25	北海道地図(株)	54	(株)丸蔵
26	ねむのきグループホーム ねむのきワークセンター	55	石持建設工業(有)
		56	上原ネームプレート工業(株)
27	(株)けんかん	57	(株)道北舗道
28	(有)新技工	58	(株)コタニ工業
29	荒井建設(株)	59	(株)大川原産業
30	(株)廣野組	60	弘徳建設(株)

【参考】管轄区域内消防団の実員数

【令和8.4.1】

区分 / 階級	合　計	旭川市	上川町	鷹栖町
合　　計	769 (47)	631 (44)	67	71 (3)
団　　長	3	1	1	1
副 団 長	11	9	1	1
分 団 長	41 (1)	32 (1)	4	5
副 分 団 長	41 (1)	32 (1)	4	5
部　　長	86 (2)	69 (2)	7	10
班　　長	154 (7)	134 (7)	10	10
団　　員	433 (36)	354 (33)	40	39 (3)

※　(　)内は、女性団員数
※　旭川市消防団副団長の実員9人のうち2人は、分団長事務取扱
※　旭川市消防団副団長の実員9人のうち3人は、副分団長事務取扱